



## 風水害に備えよう

突然起ころる地震とは異なり、雨や風は事前に予測できる場合があるので、風水害が発生する前に備えることができます。災害時に慌てることがないように日頃からどのように行動するか決めておくことが重要です。

### ❖ 家のまわりの備え

#### 窓

- 飛来物に備えて外側を板でふさぐ。
- 内側はX印にガムテープを貼る。
- 雨戸が閉まるか確認する。

#### 玄関まわり

- カーポートの屋根を補強する。
- プロパンガスを固定する。
- ブロック塀のひび割れや傾きを修理する。
- 玄関をふさぐ土のうや止水板を用意する。

#### ベランダ

- 物干し竿や鉢植えを室内に入れる。
- エアコンの室外機を固定する。

### ❖ 自宅での備え

#### 家族・個人での備え

- ハザードマップ(風水害編)を確認する。
- 避難所、避難場所を確認する。
- 避難所、避難場所へのルートを確認する。
- 家族で避難行動について話し合いをする。
- マイ・タイムライン(避難行動計画表)を作成する。(P.13~14)

#### 地域での備え

- 洪水や浸水の対策について、地域で話し合いをしている。
- 地域の防災訓練に参加している。

#### 家の中の備え

- 非常用持出袋を準備し、置き場所を決めていり。(P.27)
- 備蓄品を備える。(P.27)

できているか  
確認してみましょう!



### ❖ 風水害から身を守るために

#### 最新の防災情報を入手する

台風などの接近により大雨が予想される場合など、テレビやラジオ、インターネットなどで最新の気象情報を確認し、備えましょう。河川の氾濫や土砂災害の危険が迫った場合には、東海市から避難に関する情報を発令します。ご自身に適した防災情報の入手方法を確認しておきましょう。(P.3~4)

#### 浸水危険箇所を知る

台風による水害の危険性を周知し、水害への備えや迅速な避難に役立つよう、ハザードマップ(風水害編)を公表しています。日頃から浸水の起きやすい箇所などを確認しておきましょう。



#### 台風は通り過ぎるのを待つ

自宅にいる場合は外出を控えます。屋根や窓の補修のために外へ出ることは危険です。台風接近時に外にいた場合は、近くの安全な場所で通り過ぎるのを待ちましょう。



#### ひざ下まで水が来る前に避難する

浸水時の歩行可能な水位は、ひざ下までが目安です。水位が低くても水の勢いで動けなくなるので、浸水の危険が迫った場合には、できるだけ高い所へ早めに避難しましょう。



#### 排水設備の点検・清掃

側溝や排水溝の周辺にゴミがたまることで、雨水が流れず、浸水の危険性が高くなります。地下や半地下では、排水ポンプの故障による浸水被害の危険もあります。

定期的に排水設備の点検・掃除をしましょう。

#### 簡易な浸水防止方法

道路から庭や玄関への浸水に備えるために、「土のう」「水のう」「止水板」などを設置する場合には、隙間なく並べましょう。



#### 地下からより高いところへ避難する

地上の冠水によって地下に水が流れ込み、避難が難しくなる場合があります。

できるだけ早く地上に出て、安全が確保できる場所に避難しましょう。

